

やマト螢
Hotaru Yamato

私たち、
女大

卒業 直前

1

まで

年同期は
イジワルで
一途

してま
したこ
…



年下同期はイジワルで一途
～私たち、始業直前まで
Hしてました…

第 1 話







エッチしてた
なんて...っ!!



三徹して必死に
資料作った甲斐
があった!!

やったー!!



ありがとうございます!!



事の発端は
昨日に遡る—

プロジェクト
スレゼン 結果
1位 春園椿
2位 桐崎真
3位

...ということ

新規プロジェクトの
リーダーは春園さん
で決めます

隣でヘンな顔
しないでくれる?

ただでさえ
椿ちゃん

おもしろい顔
してるのに

なによ桐崎くん
同期のあたしに
先越されて
悔しいの？

まさか
血眼になって準備してた
椿ちゃんに今回は譲って
あげただけだよ

俺が軽く抜かしたら
かわいそうじゃん

年下のくせに
ほんっと
ナマイキ!!

椿ちゃんは
年上と思えない
くらい幼いからね
(主に外見が)

また
始まった

…今会議中
なんですけどね

あたし
春園椿には

これ以上ない
くらい大きな
目の上の
たんこぶがいる

それが
この男

年下同期の
桐崎真澄だ

何かにつけて
冷やかしてくるし

イラ
イラ
口を開けば
嫌味ばっかり!

イラ
なによりも…

でも真澄先輩って
ルックスも仕事も
本当にピカいち
ですよ♥

何かできる男の
秘訣ってあるん
ですか?

フツ
買いかぶり
すぎ

凡人とは元が
別格なんだよ
オーラ

俺はただ
至極当然のこと
しかしてないよ

負けず嫌い!

確実に能力値が
上なところか

ほんつと
ムカつく!!

よし！担当してる
システムのチェックも
全部終わったし

これで今日も
スッキリ帰れる！

先輩！
たいへんですっ

K社からメール
システムが急に
全停止したって
連絡が…!!

えっ!?

どうしよう

K社の案件って
構成がかなり
大きいから

あたし1人じゃ
時間がかかり
すぎちゃう…

づッ…

悔しいけど
こいつしか
いない…

手伝おうか？

まだ会社に残ってる
人でこのトラブルに
対応できそうなのは…

仕事のためよ
椿!!

…じゃじゃあ
お願いしようかな









やらかした!!!

ごめんごめん!!
ほんとごめん!!



もはや朝。

3時間どうにか



椿ちゃんの仕事はもうないよ

完全に1人でやらせてしまった...

何も言い返せない



おはよ

ヨダレ出して
気持ちよさそうに
寝てたから
起こせなかったよ

いや起こし
なさいよ!!!



他の社員が
出社してくるまで
まだ時間あるし

そのままスペース
使つてなよ
俺も適当に寝るね

えっ



本気で言ってる？

あたりまえよ！

これで2人とも
平等に休める
でしょ！！

桐崎くんが異性
だっていう問題
はあるけど

まじで
こまごま
こまごま
こまごま
お前も
寝ろ！！

ゼッ！

あたし基本
そういうの
気にしてないし

彼だってわざわざ
あたし相手に
ヘンな気も起き
ないでしょ……

よし、じゃー
さっさと
寝よ！

時間もないし

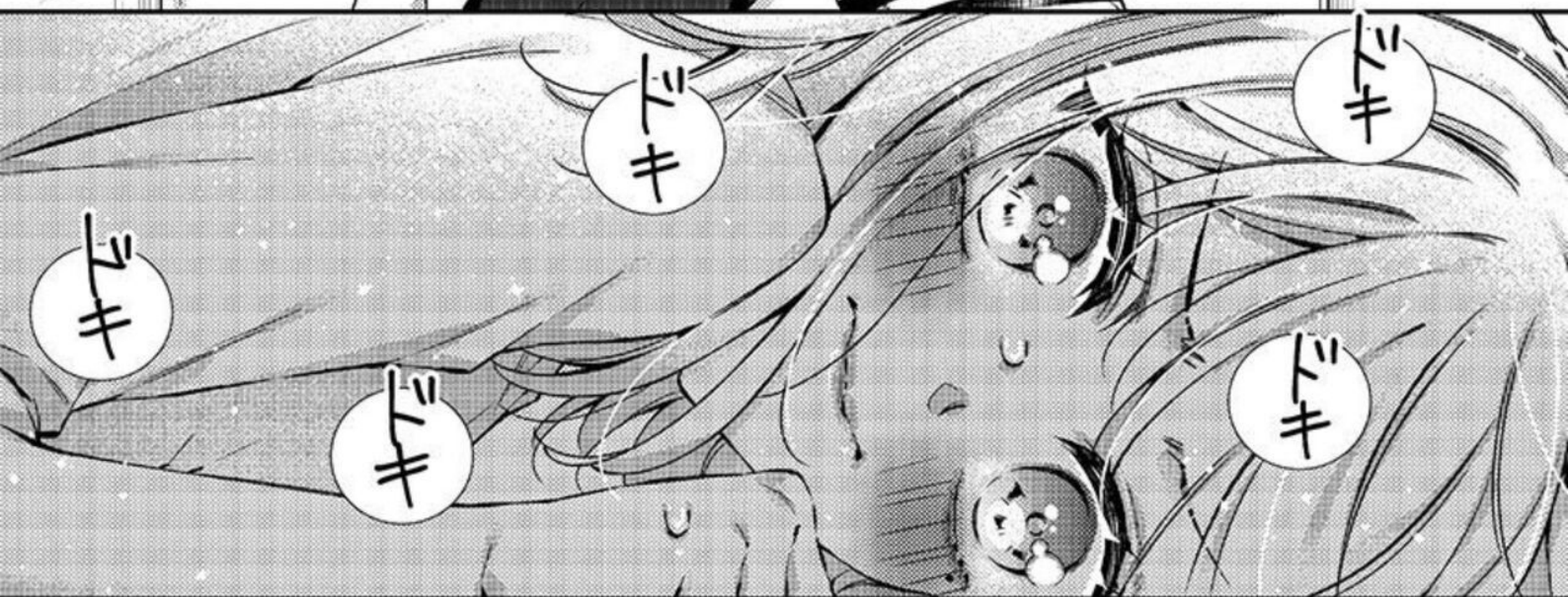
そーだね

椿ちゃんが
いいなら……
そうさせて
もらおうかな

—で

こうなった

わけだけど…



ああれ…？
ドキ

なんでこんなに
緊張してるん
だろう
ドキ

桐崎くんのこと
なんてどうでも
いいはずなのに…
ドキ

おっ
ドキ

落ち着いて椿！
男の子と一緒に
寝たことくらい
あったでしょ！！
ドキ



マジか。

…椿ちゃんさあ

ちよつと無防備
すぎない？

起きてた

はあ!?

なに言ってる
のよ!!

いくら童顔でも
女性には変わら
ないんだからさ

もっと自覚持たないと

ヤキッ

やっぱり
腹たつ!!

桐崎くんでも
仕事中は遊ば
ないでしょ!

仕事外なら
何してても

あたしの
知ったことじゃ
ないけど!!



…?
?



…ちよ
ちよつと!?

なにして…

あのさ



勃ったんだけど



はっ!?
なん…え!?

ちよっ…
どういう
こと!?

お尻に
当たってる
のって…

…椿ちゃん今
自分で言ったよね?

仕事外なら俺が
何しても知った
ことじゃないって

だったら

始業前の今は

は!?

なによ それっ...!

俺の好きにしていって ことでしょ?

てゆーか いい加減 離し...

スッ

始業前の今は

は!?

なによ それっ...!

俺の好きにしていって ことでしょ?

てゆーか いい加減 離し...

スッ

は!?

なによ
それっ……!

でゅーか
いい加減
離し……

スッ

俺の好きにしてい
いって
ことでしょ?

始業前の今は

始業前の今は

は!?

なによ それっ...!

俺の好きにしていって ことでしょ?

てゆーか いい加減 離し...

スッ

始業前の今は

は!?

なによ それっ...!

俺の好きにしていって ことでしょ?

てゆーか いい加減 離し...

スッ

は!?

なによ
それっ……!

でゅーか
いい加減
離し……

スッ

俺の好きにしてい
いって
ことでしょ?

始業前の今は

始業前の今は

は!?

なによ それっ...!

俺の好きにしていって ことでしょ?

てゆーか いい加減 離し...

スッ



じゃあこの濡れはなに？

ほら

下着ごしでもぬるぬるしてる

あ
あ……

ぬる
び……

うそ……
あたしっ

桐崎くん相手に
感じてるの……!?

キャー
ッ

ちがう……っ
に

彼はただの
同期で……

いけないのに……っ

や
あ
あ……
び……

……あ
あ

か
あ

だから
こんなこと

すぐに
やめさせないと

キャー
ッ

は
あ
あ……
び……

びびる







年下同期はイジワルで一途
～私たち、始業直前まで
Hしてました…(1)

著者 ヤマト蛭
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。